

施設名	木曾川・揖斐川導流堤								
所在地	三重県 桑名市								
管理者等	国土交通省								
施設種類・分野	河川								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>揖斐川導流堤は、明治改修工事末期の明治42年(1909年)に竣工しました。全長は約5,480mで、木曾川導流堤同様、2,640mの土堤と、2,840mの石堤でできています。</p> <p>木曾川導流堤と同様、土堤には新河道掘削の際の浚渫土砂や撤廃する旧堤の土砂、石堤には石材が使われましたが当時は石材の需要が増えたため価額が高騰し、非常な困難を極めたということです。揖斐川導流堤は、舟運のため中央部に約十メートル程の開口部を設けています。木曾川導流堤と同様、竣工時の土堤部分は、終戦後に川裏が干拓され陸地となったため河川堤防に改築し、現在は石堤部分のみが導流堤としてその機能を発揮しています。その後、広域的な地盤沈下により機能が減少したため、昭和50年代にコンクリートブロックを上置して機能を維持しています。</p>								
									
	木曾川下流河川事務所HPより引用								
築造時期	明治後期				時期詳細	明治42年			
関連人物	ヨハネス・デ・レイケ								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	ヨハネス・デ・レイケによる粗朶沈床工の導流堤であり、竣工から現在に至るまで河口部の河道維持に機能しており、旧堤体はそのままの姿をとどめている。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	木曾川・揖斐川導流堤川がまちをつくる, 田中 直人, 土木学会誌91-5,2006,pp.72-73 http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00034/2006/91-05/91-05-0072.pdf								
管理者等のHP (URL等)	国土交通省木曾川下流事務所 http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/kisomaps/win/024/map.html								